

エネルギー・環境分野の中長期的課題解決に資する新技術先導研究プログラム

産業技術環境局
エネルギー・環境イノベーション戦略室
総務課 国際室

令和5年度概算要求額 55.9 億円（ 52.9 億円 ）

事業の内容

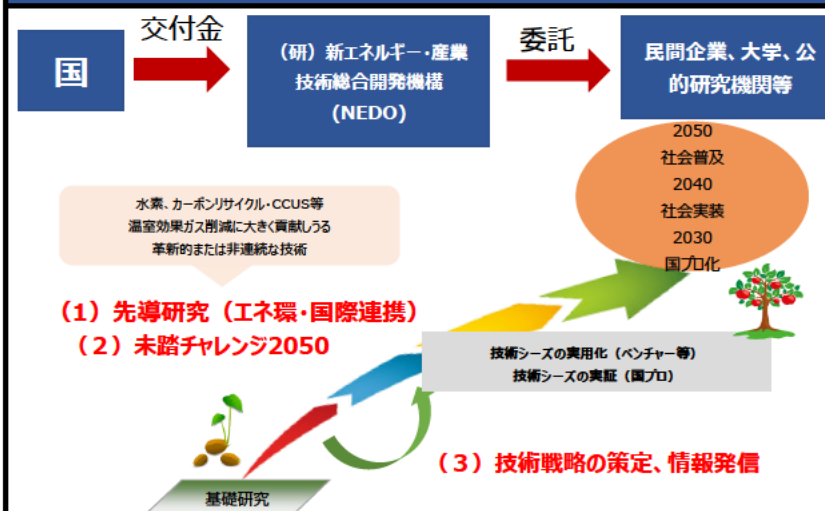
事業目的

2050年カーボンニュートラル及びエネルギー・環境分野の中長期的な課題を解決するためには、国家プロジェクトの推進に加えて、20年後、30年後に新たな成長分野を創り出していく戦略的な取り組みが必要である。このため本事業において、ハイリスクだがインパクトのある技術の原石を発掘し、将来の国家プロジェクト化やベンチャーによる事業化等を見据えて磨き上げることを目的とします。【令和5年度末で事業終期を迎えるため、事業スキームを見直した上で、令和11年度末までの事業期間延長】

事業概要

- (1) 先導研究：
（エネ環）2040年頃の実用化を目指す事業。産業界・アカデミアからの技術シーズ及び社会・産業ニーズを元にした研究開発課題を設定し、3事業年度を上限に研究開発を実施します。
（国際連携）G20を中心とした諸外国の研究機関との国際共同研究を実施。事業開始から4事業年度を上限に実施します。
- (2) 未踏チャレンジ2050：2050年頃の実用化を目指す事業。5事業年度を上限に研究開発を実施します。
以上の事業は、中間評価において継続の判断を実施します。
- (3) 技術戦略策定調査、情報発信事業：国として実施すべき技術分野を優先順位付けし、各技術について技術戦略を策定する。また、先導研究の成果等をWeb等を通じて国内外に発信し、全世界に向けて投資を促進します。

事業スキーム（対象者、対象行為、補助率等）



成果目標

本事業は令和5年度からの5年間で年20件の新規採択を行い、本研究成果を活用した研究開発プロジェクト（国家プロジェクト等）案件を50件以上創出します。また国プロ化に至らなかった事業も含めて、終了後も産学連携体制を維持し自立した研究開発が続けられる割合が80%を超えることを目標とします。国際連携事業については、革新的クリーンエネルギー技術の橋渡し案件を、実施案件中の6割以上創出することを目標とします。